

1 番草の収穫作業について

1 牧草生育と収穫時期について

作況平年値におけるチモシーの出穂、収穫時期は以下のとおりです。

作況平年値	出穂始め	出穂期
本別町	6月9日	6月12日

作況平年値	収穫始め	収穫期	収穫終
本別町	6月12日	6月18日	7月1日

※出穂始めは、1㎡あたり2～3本が出穂している状況、出穂期は、ほ場の4割が出穂している状況

牧草の生育状況によって栄養価も変動します。出穂期を過ぎ、開花すると栄養価は大きく低下します。栄養収量の確保のためには、出穂始め～出穂期に刈り取りをおこないきましょう。

2 良質粗飼料の確保に向けて

(1) 刈取り高さとお断り

1 番草収穫時の低すぎる刈高は、牧草の再生を遅らせ、雑草の侵入を容易にします。刈取り高さは地表から 10 cm 以上に設定しましょう。ほ場の凹凸状況に関わらず、収穫時に土砂が混入するのを減らすことができます。(写真1、図1)

また、スパッと切れた切断面はサイレージの採食量を向上させ、養分の損失を少なくする効果があります。作業前には刃の研磨状態や作業機械の不具合がないかを確認しましょう。

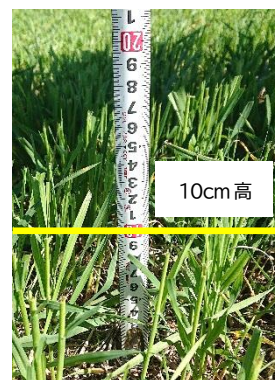


写真1 10cmの高さで刈り取った様子

(2) 高水分時の添加剤について

原料草が高水分でギ酸を添加する場合は、pH 試験紙などを用いて 4.0 以下になるように添加量を調整しましょう。シバムギなどが多いと pH が下がりにくいため、添加量が足りないと良質な発酵になりません。

(3) 鎮圧・密封

バンカーサイロでの調製は、原料草をなるべく薄く (30 cm 以下を目安) 延ばして、タイヤショベルなどで踏み込むことが必要です。鎮圧不足では、開封後の変質が早く二次発酵しやすくなります。鎮圧作業は十分におこない、その後は空気に触れないようにシートをかけ、すみやかに密封しましょう。

刈取り高さが低く設定されていると、草が平らでない場合には...

異物混入?

超低刈り

◎超低刈りの部分ができ、牧草の再生力が低下します

◎土や堆肥・スラリーなどが混入しやすくなり、不良発酵の原因となります

図1 刈り取り高さによる影響

調製時のロスをなくし、良質なサイレージを確保しましょう!